

運用緩和の基準を用いて申請するとき

様式

運用緩和の基準を用いた理由を簡潔に記載

中小企業信用保険法第2条第6項の規定による認定申請書

令和2年5月10日

市長 殿

令和元年10月に新規店舗出店のため運用緩和の基準を用いて申請します。

申請者 高松市番町1丁目8-15
住所 高松市番町1丁目8-15
氏名 高松〇〇株式会社
代表取締役 〇〇 〇〇

私は、新型コロナウイルス感染症の発生に起因して、現在、金融取引の正常化のために資金調達が必要となっており、かつ、下記のとおり売上高等も減少しております。こうした事態の発生により、経営の安定に支障が生じておりますことから、中小企業信用保険法第2条第6項の規定に基づき認定されるようお願いいたします。

記

法人の設立日(原則)

1 事業開始年月日 平成2年4月1日

比較対象を記載する

2 (1) 売上高等
最近1か月間の売上高等

減少率 53.2% (実績)

小数点は第2位を切り捨て

$$\frac{B-A}{B} \times 100$$

A: 信用の収縮の発生における最近1か月間の売上高等 2,458千円

数字は千円単位で丸めてもOK

B: 〇〇〇の期間に対応する前年1か月間の売上高等 令和元年12月の売上高 5,257千円

(ロ) 最近3か月間の売上高等の実績見込み 減少率 54.0% (実績見込み)

$$\frac{(B+D)-(A+C)}{B+D} \times 100$$

C: Aの期間後2か月間の見込み売上高等 4,789千円

売上高減少の理由を簡潔に記載

D: Cの期間に対応する前年の2か月間の売上高等 令和元年12月の売上高の2倍 10,514千円

3 売上高等が減少し、又は減少すると見込まれる理由

新型コロナウイルス感染症により、予約のキャンセルが相次いでいるから

(注1) 〇〇〇には、経済産業大臣が生じていると認める「信用の収縮」を入れる。

(注2) 2の(ロ)の見込み売上高等には、実績を記入することができる。

(留意事項)

- ① 本認定とは別に、金融機関及び信用保証協会による金融上の審査があります。
- ② 市町村長又は特別区長から認定を受けた後、本認定の有効期間内に金融機関又は信用保証協会に対して、危機関連保証の申込みを行うことが必要です。

高産第 号

令和 年 月 日

申請のとおり、相違ないことを認定します。

(注) 本認定書の有効期限：令和 年 月 日から令和 年 月 日まで

高松市長 大西秀人